【樹木の部屋】

オタフクナンテン（メギ科ナンテン属　Nandina domestica cv. Otafukunanten）

和名：オタフクナンテン(お多福南天)

別名：オカメナンテン(おかめ南天)、　ゴシキナンテン(五色南天)

英名：Nandina

キンポウゲ目　常緑低木　　原産地：東アジア

花言葉：機知に富む、福をなす、よい家庭を　　花色：

← 写真-１　オタフクナンテン
撮影日：2021 年 2 月 20 日
撮影場所：大和郡山市郊外市内にて
撮影者：M　さん

←↗ 写真-２，３　オタフクナンテンの小枝
撮影日：2021 年 2 月 20 日
撮影場所：大和郡山市郊外て
撮影者：M　さん

→　写真-４　オタフクナンテン
撮影日：2021 年 2 月 24 日
撮影場所：大和郡山市郊外にて
撮影者：Ｍ　さん

オタフクナンテンは、南天の改良品種で、草丈が 50cm ほどにしか生長しません。また、南天の特徴である真っ赤な実は付きにくくなっています。常緑樹ですが、葉っぱが霜に当たると緑色から赤色に紅葉に、季節によって美しい姿を見せてくれます。夏場にはやや黄緑がかるのも涼しげです。和風のイメージが強い植物ですが、様々な相手にマッチします。

剪定なしで放任しても自然と丸い樹形になってくれます。丈が低く、日陰にも耐えるので北側のグラウンドカバーにもおすすめです。オタフクナンテンはいろいろな植物と併せて植え込んで楽しむ方も多く、お庭のグラウンドカバーとしては定番の部類に入ります。

和名の由来は葉の縁が反り、ナンテンより丸い印象になることからだそうです。

葉は三出複葉で小葉は 3～6 ㎝の広被針形または披針形で互生します。縁は全縁で葉先は鈍く尖り、葉の表は緑色で、裏は淡緑色です。

ナンテン(南天)は昔から「難を転ずる」として厄除けや魔よけの縁起の良い樹木とされてきました。さらにオタフクナンテン(お多福南天)は、「お多福」と「難転」の二重の縁起木といえます。